

令和8年度 社会教育の重点

木津川市教育委員会では、市民一人一人が生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習社会実現のための基本的な考え方や方向性を示し、今後10年間の生涯学習施策の推進の指針とするために生涯学習推進計画を策定しています。

木津川市の特性を最大限に活用し、木津川市ならではの生涯学習関連事業の展開により、生涯学習推進都市を目指します。

－ 第2次木津川市生涯学習推進計画 －

計画期間：2024年(令和6年)度～2033年(令和15年)度

基本理念

人をはぐくみ 心を結び まちを創る

基本目標

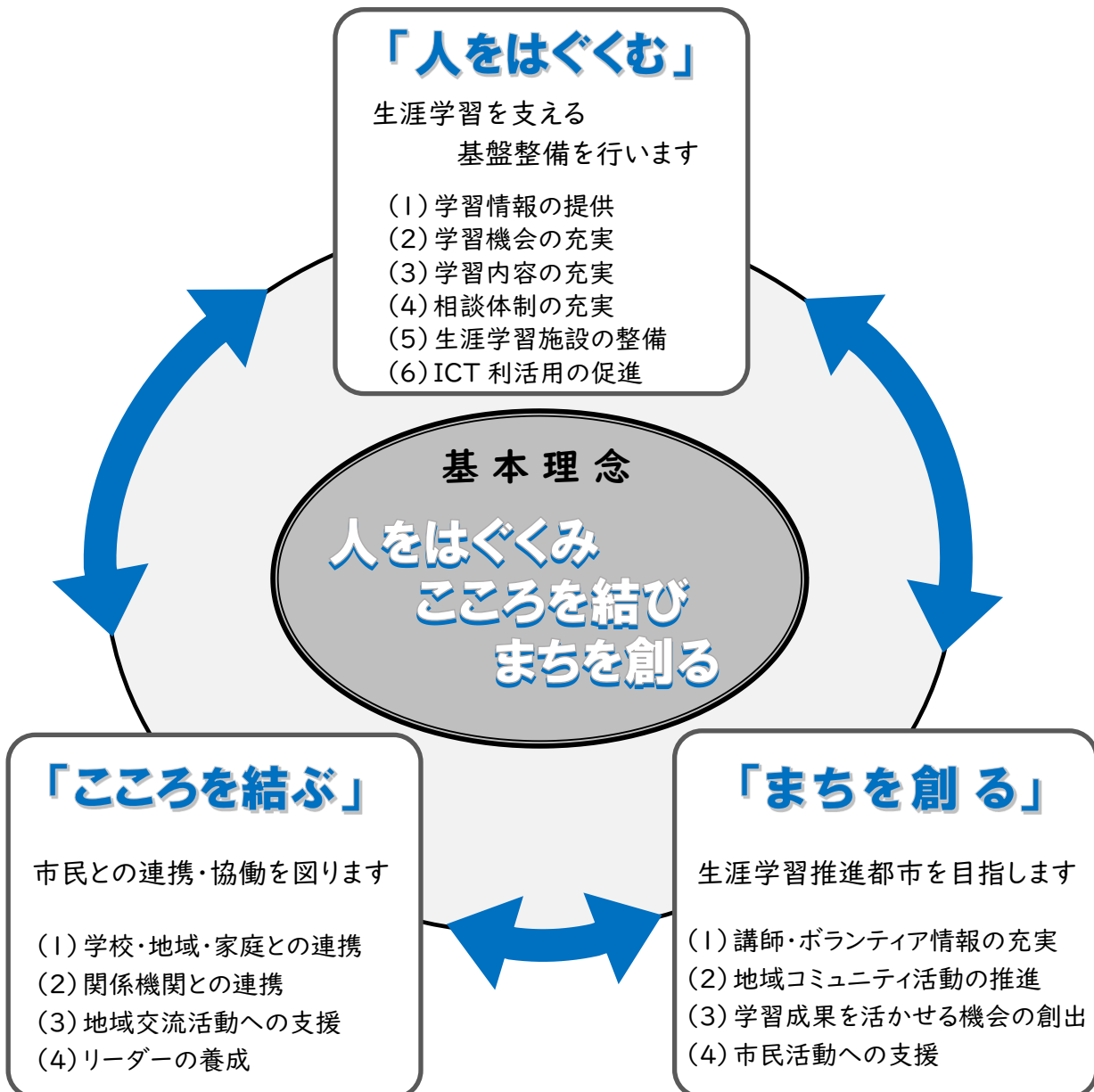


社会教育の重点

～生涯学習推進計画を着実に進めるために～

木津川市教育委員会では、令和6年3月に「第2次木津川市生涯学習推進計画」を策定しました。この計画の基本理念である「人をはぐくみ ところを結び まちを創る」の実現を目指し、年度ごとの目標や具体的施策などを社会教育関係者等に示すことを目的として、令和8年度「社会教育の重点」を定めるものです。

生涯学習推進計画における施策の体系図



※ 波線を引いている項目について、令和8年度の重点項目として、取り組みます。

基本目標1 人をはぐくむ

重点施策：生涯学習を支える基盤整備を行います

(1) 学習情報の総合的な収集・整理を行い、市民に様々な情報を提供する

- ・各種講座、イベント情報の発信の工夫 ・生涯学習情報誌の内容の充実

(2) 気軽に生涯学習に取り組むことができるよう機会の充実を図る

- ・多様な学習スタイルの提供 ・各種講座の拡充
- ・生涯スポーツと健康づくりの推進 ・図書館の学習イベントの充実

(3) 地域的課題や現代的課題に対応した学習内容の設定を行う

- ・地域の歴史や文化を知るための学習機会の充実 ・生涯学習に関する講座等の充実
- ・防災意識高揚のための機会の設定

(4) 生涯学習に関する相談を気軽に行うことができるよう相談体制の充実を図る

- ・相談窓口体制の強化 ・生涯学習情報の把握と提供

(5) 生涯学習施設をより利用しやすい施設とするための整備を行う

- ・施設の老朽化対策及び機能の充実 ・専門職員としての資質の向上

(6) ICT(情報通信技術)の利活用を促進する学習機会・場の提供及び基盤の整備を行う

- ・ICTを活用した情報提供の推進
- ・新しい生活様式での学習機会の提供



基本目標2 ところを結ぶ

重点施策：市民との連携・協働を図ります

(1) 学校・地域・家庭の連携を促進するとともに、地域による学校支援の充実を図る

- ・放課後子ども教室の充実 ・青少年育成委員会事業の充実
- ・図書館運営事業の推進 ・地域学校協働本部事業の充実
- ・学校施設開放事業の拡充 ・部活動地域移行の検討

(2) NPOや企業、高等教育機関との連携を図り、生涯学習活動の充実を図る

- ・生きがい大学(近隣大学講座)の開催 ・スポーツイベントや教室の開催
- ・奈良市立北部図書館の図書貸出サービスの利用促進

(3) 地域交流活動を支援し、人と人とのネットワークづくりを推進する

- ・世代間交流事業の推進 ・公民館事業の充実 ・市内在住外国人との交流の促進

(4) リーダーとなる人材の発掘と育成を図る

- ・社会教育団体(スポーツ・文化芸術団体等)育成事業の推進
- ・地域学校協働本部事業の充実



基本目標3 まちを創る

重点施策：生涯学習推進都市を目指します

(1) 講師・ボランティア情報の収集と情報の整理を行い、市民に的確な情報を提供する

- ・人材活用リストの作成
- ・地域活動への講師、ボランティア紹介
- ・各種講座での講師活用

(2) 自主グループ活動への支援を行い、地域コミュニティ活動を推進する

- ・地域に根付いた事業の支援
- ・各種講座の受講生によるサークルの立上げ

(3) 学んだ成果を発表できる場の提供や成果を活かせる機会を積極的に創出する

- ・小さな発表会や体験講座の定期的な開催
- ・講師派遣事業の推進

(4) 市民の様々な活動を支援し、まちづくりへの発展を促進する

- ・地域学校協働本部事業の充実
- ・放課後子ども教室の充実
- ・地域活動サークル備品貸出の充実



地域学校協働本部事業（田植え）



放課後子ども教室（高校生から学ぶ防災教室）

計画の推進にあたって

(1) 計画の推進体制

本計画を推進するにあたっては、事務局である教育委員会社会教育課が中心となって関係部署と連携しながら進捗状況の確認や効果の把握等を行い、有識者や公募市民等で構成する「木津川市社会教育委員会」において報告し、意見を求めながら、本計画の進行管理を行い、円滑に計画を推進していきます。

(2) 計画の進行管理

本計画を実効性のあるものとしていくためには、計画に記載していることを着実に実行し、その進捗状況や成果を点検・評価し、次の取り組みにフィードバックさせていく仕組みが重要です。

計画の進行管理は、「PLAN（計画）」→「DO（実行）」→「CHECK（評価）」→「ACTION（改善）」のPDCAサイクルに基づき、年度ごとに進行管理を行うことで、計画の推進を図ります。

